

週刊 タバコの正体

ある調査会社が20代～60代の喫煙者・非喫煙者男女計1000人を対象に喫煙ルールについて行ったアンケート結果を紹介します。

以下の表は、喫煙者が喫煙する際に守っているマナーについて複数回答で得た結果です。家庭内では「指定場所以外では喫煙しない」、職場でも「指定喫煙所以外では喫煙しない」という回答が半数以上です。そして喫煙可能な飲食店でも「一緒にいる人の了解を得る」、「非喫煙者が一緒なら原則として喫煙しない」と言う回答が上位を占めています。

順位	家庭内のマナー	割合 (%)
1位	指定の場所（ベランダなど）以外では喫煙しない	58.7
2位	喫煙する際は換気扇をつける	33.6
3位	指定の場所であっても、子どもが近くにいる場合は喫煙しない	14.4
4位	指定の場所であっても、配偶者が近くにいる場合は喫煙しない	11.1
5位	喫煙後は手洗いをする	11.1

順位	職場でのマナー	割合 (%)
1位	指定の喫煙所以外では喫煙しない	66.2
2位	指定の場所であっても、非喫煙者が近くにいる間は喫煙しない	23.5
3位	喫煙する際は換気扇をや空気清浄機を活用する	18.5
4位	喫煙後は手洗いをする	12.1
5位	喫煙後は歯磨きをしたりミントタブレットを食べる	11.9

順位	喫煙可飲食店でのマナー	割合 (%)
1位	喫煙の際には一緒にいる人の了解を得る	45.9
2位	非喫煙者と一緒の際は原則として喫煙しない	31.5
3位	煙の流れに気をつけて、人に煙がかからないようにする	28.6
4位	食事中は原則として喫煙しない（食後に喫煙する）	24.0
5位	混雑している席では原則として喫煙しない	23.8

周りの人に迷惑をかけないように気を使っている喫煙者が多いという事だと思えます。思いやりがある喫煙者が大勢いる事はいい事だと感じますが、一方で、そんな気遣いをしながら毎日生活しているのだと思うと、少し気の毒な気がします。実際、グラフにあるように約8割の喫煙者が喫煙環境に不便を感じています。

今後ますます喫煙率の低下が予想されるなか、さらに喫煙環境は不便になるでしょう。だから、タバコを吸い始めてしまうと、将来こんな気遣いをしながら生活をする事になるだろうと思えます。

それを覚悟で吸い始める必要はないですよ。

産業デザイン科 奥田 恭久

現在の喫煙環境に不便を感じるか

